

平成27年12月16日
教育課程部会特別支援教育部会
(第4回) 資料5

特別支援学校の教育課程編成の例について

平成27年度 長崎県立諫早特別支援学校 教育課程編成 基本方針

<教育課程の類型について>

児童生徒の障害の状態や発達段階、卒業後のめざす姿に応じ、以下の類型の教育課程を編成し、指導の充実を図る。

- I 課程：小中学校及び高等学校の学習指導要領に準じた教育課程
- II 課程：教科の目標・内容の一部を下学年・下学部に替えた教育課程
- III 課程：知的障害特別支援学校の教科に代替した教育課程
 - A 類型：知的障害特別支援学校の当該学部段階の各教科の内容
 - B 類型：知的障害特別支援学校の下学部段階の各教科の内容
 - C 類型：自立活動の内容と知的障害特別支援学校の下学部段階の各教科の内容
- IV 課程：訪問による教育課程

<各学部教育目標>

学校教育目標を踏まえた以下のような各学部の目標の実現をめざし、一貫した系統性のある指導を行う。

- 小学部：児童一人一人の実態や特性に応じ、心身ともに健やかな成長ができるように、日常生活に必要な基礎的な知識・技能・態度を育てる。
- 中学部：一人一人の心身の発達状況や特性を的確に把握し、主体的に学習に取り組む態度を育て、自ら周りの人や環境に関わろうとする習慣を養うとともに、健康で心豊かな生徒の育成に努める。
- 高等部：健康の保持増進及び体力の維持を図り、社会生活に必要な知識・技能・態度を育てるとともに誠実で豊かな心を育てる。
生徒一人一人の特性や課題に応じた進路指導を推進し、自立した生活を送り、積極的に社会参加するための生きる力を育てる。

<学校全体の基本的な考え方>

- 児童生徒の障害の状態に関わらず、学校教育として提供する教育内容について、教科の学びを成立させることを前提とした教育課程を編成する。
- 児童生徒の実態とともに学びの履歴を的確に把握し、卒業までに身につけてほしい力を踏まえて、授業づくりをする。
- 各教科・科目、各領域、総合的な学習の時間、外国語活動等、教育活動全体を通して、家庭や医療・福祉・労働の関係諸機関と連携しながら、12年間で計画的・系統的にキャリア教育を進める。
- 教科別の指導においては、教科の内容の相互の関連や系統性を明らかにして、障害特性に応じた指導を行う。
- 各教科等を合わせた指導においては、児童生徒の実態や経験等に応じて、知的障害特別支援学校の各教科・道徳・特別活動・自立活動の内容を基にして、指導する内容を具体的に設定する。
- 自立活動の指導においては、学習内容一覧や課題整理表、チェックリスト等を活用して、複数の教員による個別の指導計画の作成・運用を行い、児童生徒の調和的発達の基盤を育成するために、個々に応じた教育活動を展開する。
- 社会体験や自然体験などの活動を通して、豊かな心や生きる力をはぐくみ、人間として調和のとれた児童生徒の育成に努める。
- 日々の学習の集大成として、行事を計画的に設定し、学校全体が一丸となって企画・運営に取り組む。
- 地域の人々や他校との交流及び共同学習を計画し、相互に理解を深めるとともに、在学中から児童生徒の社会参加を念頭にいた指導を行う。

<学校教育目標>
教育基本法、学校教育法等の人間尊重の精神を基調として、児童生徒一人一人の特性や課題に応じてきめ細やかな一貫した教育を行うことにより、「生きる力」を育み、自立し社会参加を目指す健康で心豊かな人間の育成に努める。

<めざす学校像>
○児童生徒の命の尊さや人権を尊重し、一人一人を大切にす学校
○児童生徒が、安心して明るく生き生きと学べる学校
○地域の特別支援教育の核となる学校

<めざす児童生徒像>
○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒
○心豊かで思いやりのある児童生徒
○自ら進んで周りの人や環境に関わりをもつ児童生徒

<めざす教師像>
○子どもの心情を理解し、子どもとともに歩む教師
○肢体不自由教育、重複障害教育の専門性を追求する教師
○保護者や地域から信頼される誠実な教師

小学部教育目標

中学部教育目標

高等部教育目標

小学部教育課程編成

中学部教育課程編成

高等部教育課程編成

訪問教育教育課程編成

平成27年度 小学部の教育課程

1 I 課程・II 課程 指導形態及び各学年の年間授業時数

領域・教科		学 年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
各教科	国 語	272	280	227.5	210	175	157.5	
	算 数	136	140	157.5	175	175	175	
	社 会			52.5	70	70	87.5	
	理 科			70	87.5	87.5	87.5	
	生 活	68	70					
	音 楽	51	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5	
	図画工作	34	35	35	35	35	35	
	家 庭					35	35	
	体 育	51	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5	
	領域別の指導	道 徳	34	35	35	35	35	35
特別活動		34	35	35	35	35	35	
自立活動		自立活動	102	105	105	105	105	105
		食事の指導	170	175	175	175	175	175
総合的な学習の時間				52.5	52.5	35	35	
外国語活動						17.5	17.5	
年間授業時数合計		952	980	1050	1085	1085	1085	

2 III 課程

(1) A 類型 指導形態及び各学年の年間授業時数

領域・教科		学 年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
各教科	国 語	102	105	105	140	140	140	
	算 数	68	70	105	105	105	105	
	生 活	102	105	140	140	140	140	
	音 楽	51	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5	
	図画工作	34	35	35	35	35	35	
	体 育	51	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	生 活	170	175	175	175	175	
		国 語						
		算 数						
領域別の指導	道 徳	34	35	35	35	35	35	
	特別活動	34	35	35	35	35	35	
	自立活動	自立活動	136	140	140	140	140	140
		食事の指導	170	175	175	175	175	175
年間授業時数合計		952	980	1050	1085	1085	1085	

(2) B 類型 指導形態及び各学年の年間授業時数

領域・教科		学 年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
各教科	国 語	119	122.5	157.5	192.5	192.5	192.5	
	算 数							
	音 楽	68	70	70	70	70	70	
	図画工作	34	35	35	35	35	35	
	体 育	34	35	35	35	35	35	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	生 活	170	175	175	175	175	
		国 語						
生活単元学習	生活単元学習	生 活	102	105	140	140	140	
		国 語						
		算 数						
領域別の指導	道 徳	教育活動全体を通して行う						
	特別活動	34	35	35	35	35	35	
	自立活動	自立活動	136	140	140	140	140	140
		食事の指導	255	262.5	262.5	262.5	262.5	262.5
年間授業時数合計		952	980	1050	1085	1085	1085	

(3) C 類型 指導及び各学年の年間授業時数

領域・教科		学 年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	音 楽	68	70	70	70	70	70	
	図画工作				35	35	35	
	体 育	34	35	35	35	35	35	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	生 活	255	262.5	262.5	262.5	262.5	
		国 語						
		算 数						
	遊びの指導	生 活	136	140	140			
		国 語						
		算 数						
生活単元学習	生活単元学習	音 楽	34	35	70	175	175	
		図 工						
		体 育						
		生 活						
領域別の指導	道 徳	教育活動全体を通して行う						
	特別活動	34	35	35	35	35	35	
	自立活動	自立活動	102	105	140	175	175	175
		食事の指導	255	262.5	262.5	262.5	262.5	262.5
		課題学習	34	35	35	35	35	35
年間授業時数合計		952	980	1050	1085	1085	1085	

3 Ⅲ課程における指導の形態について

指導の形態		類型	主に扱う内容及びねらい	
各教科	生活	A	知的障害特別支援学校の小学部の生活の3段階の内容を主に扱う。	
	国語	A	知的障害特別支援学校の小学部の国語の3段階の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部の国語の2段階の内容を主に扱う。	
	算数	A	知的障害特別支援学校の小学部の算数の3段階の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部の算数の2段階の内容を主に扱う。	
	音楽	A	知的障害特別支援学校の小学部の音楽の3段階の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部の音楽の2段階の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部の音楽の1段階の内容を主に扱う。	
	図画工作	A	知的障害特別支援学校の小学部の図画工作の3段階の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部の図画工作の2段階の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部の図画工作の1段階の内容を主に扱う。	
	体育	A	知的障害特別支援学校の小学部の体育の2～3段階の内容を主に扱う。	
B		知的障害特別支援学校の小学部の体育の1～2段階の内容を主に扱う。		
C		知的障害特別支援学校の小学部の体育の1段階の内容を主に扱う。		
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	A	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部3段階の各教科の内容を扱う。	排泄、衣服の着脱、身の回りの整理、清潔、挨拶などの日常生活に必要な基本的な生活習慣の形成とともに、朝の会や帰りの会、係りの仕事などを通して集団生活の基本的なルールを身に付けることをねらいとする。(学校生活の流れに沿って、実際の活動を通して毎日繰り返す行う。)
		B	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部2段階の各教科の内容を扱う。	
		C	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部1段階の各教科の内容を扱う。	
	生活単元学習	B	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部2段階の各教科の内容を扱う。	実生活につながるような体験的な学習を通して、日常生活の中にある課題を達成・解決していく力を伸ばし、人との関わりを広げ、生活していく上で必要な知識・技能・態度を身に付けることをねらいとする。
		C	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部1段階の各教科の内容を扱う。	
遊びの指導	C	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部1段階の各教科の内容を扱う。	大型遊具を使った遊びや感触遊びなどを通して、様々な感覚刺激を受け入れること、物への興味・関心を広げ、積極的に関わろうとする力を育てること、様々な遊びを通して、友達や教師との関わりを広げ、他者の働きかけを受け入れたり、自分の意思を伝えたりといったコミュニケーションの基礎となる力を培うことをねらいとする。	
領域別の指導	自立活動	A	個々の障害の状態や発達段階などを考慮して、健康状態の維持・改善、食事、姿勢と運動・動作、感覚・認知、コミュニケーションなど必要な内容について課題を設定し、系統的・段階的に指導を行う。	
		B		
		C		
	課題学習	C	やりとりのある遊びを通して、他者に伝えたいという気持ちを高め、意思の伝達手段の獲得をはじめとするコミュニケーション能力の向上をねらう。物の弁別や好きな物の選択、簡単な因果関係の理解といった学習を通して、個別化や、類別などの力を身に付ける。	
	食事の指導	A	摂食指導や食事動作に関する指導、食事のマナーや食の管理、コミュニケーションに関する指導、食前の準備や食後の片付けの指導などを行う。	
		B		
C				

4 IV課程の指導形態及び年間授業時数

(1) 指導方針

○心身ともに安定した健康状態にある姿

○いろいろな人や物との関わりをもち、自分から意思を表現し、周囲に働きかける姿

○生活をより豊かにするために、学校や地域との関わりをもち、学習や生活の場を少しずつ広げていく姿

これらの姿を自立へ向かう姿であると考え、児童生徒たちがもっている「生きる力」を大切に育み、ニーズや実態に応じて指導を進める。

指導にあたっては、保護者・関係機関との連携を十分に図り、一人一人を複数の教師の眼で見えていくことで実践に生かす。

(2) 指導目標

①生活のリズムを整え、季節や環境の変化に少しずつ対応できる体づくりを通して、健康の保持・増進に努める。

②人や物との関わりを通して、情緒の安定を図り、生活を楽しく豊かなものにする。

③スクーリングや訪問教育行事への参加を通して、集団での様々な学習経験や生活の広がりを目指す。

④家庭・施設・医療機関との連携を具体化し、教育実践に生かす。

⑤個に応じた基礎的学力の習得に努める。

(3) 指導形態及び年間授業時数

領域・教科		施設	在宅	みさかえ分教室	
各教科等を合わせた指導	生活・社会、理科、職業・家庭	70	35	70	
	国語				
	算数・数学				
	音楽				
	図画工作・美術				
	体育・保健体育				
	自立活動				
領域別の指導	道徳	教育活動全体を通して行う			
	特別活動	学校行事	12	6	6
		訪問行事			
		交流及び共同学習			
		スクーリング			
自立活動	128	169	134		
総時数		210	210	210	

平成27年度 中学部教育課程

1 I 課程・II 課程

領域・教科		学 年		
		1年	2年	3年
		I・II	I・II	I・II
各教科	国 語	140	122.5	105
	社 会	105	105	105
	数 学	122.5	105	140
	理 科	105	122.5	122.5
	音 楽	35	35	35
	美 術	35	35	35
	保 健 体 育	87.5	87.5	87.5
	技 術・家 庭	52.5	52.5	35
	外 国 語	122.5	140	140
領域別の指導	道 徳	35	35	35
	特 別 活 動	35	35	35
	自 立 活 動	70	70	70
	食事の指導	175	175	175
総合的な学習の時間		35	35	35
年間授業時数合計		1155	1155	1155

2 III 課程

(1) A 類型

領域・教科		学 年		
		1年	2年	3年
各教科	国 語	140	140	140
	社 会	52.5	52.5	52.5
	数 学	105	105	105
	理 科	52.5	52.5	52.5
	音 楽	70	70	70
	美 術	70	70	70
	保 健 体 育	70	70	70
	職 業・家 庭	105	105	105
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	国語	35	35
		数学		
領域別の指導	道 徳	35	35	35
	特 別 活 動	35	35	35
	自 立 活 動	自立活動	175	175
		食事の指導	175	175
総合的な学習の時間		35	35	35
年間授業時数合計		1155	1155	1155

(2) B 類型

領域・教科		学 年		
		1年	2年	3年
各教科	国 語	87.5	87.5	87.5
	数 学	87.5	87.5	87.5
	音 楽	70	70	70
	美 術	35	35	35
	保 健 体 育	70	70	70
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	国語	70	70
		数学(算数)		
		社会(生活)		
	生活単元学習	社会(生活)	210	210
		理科(生活)		
		職業・家庭(生活)		
		国語		
	作業学習	数学(算数)	70	70
		職業・家庭(生活)		
		数学(算数)		
領域別の指導	道 徳	教育活動全体を通して指導	教育活動全体を通して指導	教育活動全体を通して指導
	特 別 活 動	35	35	35
	自 立 活 動	自立活動	210	210
		食事の指導	175	175
	総合的な学習の時間		35	35
年間授業時数合計		1155	1155	1155

(3) C 類型

領域・教科		学 年		
		1年	2年	3年
各教科	国語	84	84	84
	数学(算数)			
	音 楽			
	美 術			
	保 健 体 育			
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	国語	210	210
		数学(算数)		
		社会(生活)		
	生活単元学習	社会(生活)	210	210
		理科(生活)		
		職業・家庭(生活)		
領域別の指導	道 徳	教育活動全体を通して指導	教育活動全体を通して指導	教育活動全体を通して指導
	特 別 活 動	35	35	35
	自 立 活 動	自立活動	231	231
		食事の指導	175	175
	総合的な学習の時間		35	35
年間授業時数合計		1155	1155	1155

3 III 課程における指導の形態について

指導の形態		類型	主に扱う内容及びねらい	
各教科	国語	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の国語の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部2、3段階の国語の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部1、2段階の国語の内容を主に扱う。	
	社会	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の社会の内容を主に扱う。	
	数学	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の数学の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部2、3段階の算数の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部1、2段階の算数の内容を主に扱う。	
	理科	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の理科の内容を主に扱う。	
	音楽	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の音楽の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部2、3段階の音楽の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部1、2段階の音楽の内容を主に扱う。	
	美術	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の美術の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部2、3段階の図画工作の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部1、2段階の図画工作の内容を主に扱う。	
	保健体育	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の保健体育の内容を主に扱う。	
		B	知的障害特別支援学校の小学部2、3段階の体育の内容を主に扱う。	
		C	知的障害特別支援学校の小学部1、2段階の体育の内容を主に扱う。	
	職業・家庭	A	知的障害特別支援学校の中学部段階の職業・家庭の内容を主に扱う。	
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	A	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の中学部段階の各教科の内容を扱う。	
		B	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部段階2、3段階の各教科の内容を扱う。	
		C	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部段階1、2段階の各教科の内容を扱う。	
	生活単元学習	B	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部段階2、3段階の各教科の内容を主に扱う。	
		C	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部段階1、2段階の各教科の内容を主に扱う。	
作業学習	B	ねらいに沿って、知的障害特別支援学校の小学部段階2、3段階の各教科の内容を扱う。		
領域別の指導	自立活動	A	生徒の基礎的・中心的な課題を扱い、学習指導要領に示された自立活動の6区分26項目の内容を相互に関連づけて指導を行う。生徒の特性により応じていくために、一対一で指導を行う。	
		B		
		C		
	食事の指導	A	摂食指導や食事動作に関することと合わせて、食事のマナーやコミュニケーションに関すること、食前の準備や食後の片付けなどについて指導を行う。	
		B		
		C		

平成27年度 IV課程 訪問教育 教育課程

1 指導方針

○心身ともに安定した健康状態にある姿

○いろいろな人や物との関わりをもち、自分から意思を表現し、周囲に働きかける姿

○生活をより豊かにするために、学校や地域との関わりをもち、学習や生活の場を少しずつ広げていく姿

これらの姿を自立へ向かう姿であると考え、児童生徒たちがもっている「生きる力」を大切に育み、ニーズや実態に応じて指導を進める。指導にあたっては、保護者・関係機関との連携を十分に図り、一人一人を複数の教師の眼で見えていくことで実践に生かす。

2 指導目標

(1) 生活のリズムを整え、季節や環境の変化に少しずつ対応できる体づくりを通して、健康の保持・増進に努める。

(2) 人や物との関わりを通して、情緒の安定を図り、生活を楽しく豊かなものにする。

(3) スクーリングや訪問教育行事への参加を通して、集団での様々な学習経験や生活の広がりを目指す。

(4) 家庭・施設・医療機関との連携を具体化し、教育実践に生かす。

(5) 個に応じた基礎的学力の習得に努める。

3 指導形態及び年間授業時数

領域・教科		施設	在宅	みさかえ分教室	
各教科等を合わせた指導	生活・社会、理科、職業・家庭	70	35	70	
	国語				
	算数・数学				
	音楽				
	図画工作・美術				
	体育・保健体育				
	自立活動				
領域別の指導	道徳	教育活動全体を通して行う			
	特別活動	学校行事	12	6	6
		訪問行事			
		交流及び共同学習			
		スクーリング			
自立活動	128	169	134		
総時数		210	210	210	

平成 27 年度 高等部教育課程

1 I・II 課程

I 課程：高等学校学習指導要領に準じた教育課程

II 課程：高等学校の各教科の目標・内容の一部を下学部へ替えた教育課程

< I・II 課程の履修教科・科目及び単位数 >

各教科・領域等		標準 単位数	単位数						
			1 年次		2 年次		3 年次		
			I	II	I	II	I	II	
各 教 科	国語	国語表現	3			3	3		
		国語総合	4	3	3				
		現代文 A	4					2	2
		古典 A	2					2	2
	地理 歴史	世界史 A	2					3	3
		地理 A	2			2	2		
	公民	現代社会	2	3	3				
	数学	数学 I	3	3	3				
		数学 II	4			2	2	2	2
		数学 A	2			1	1	1	1
	理科	科学と人間生活	2	2	2				
		化学基礎	2			2	2		
		生物基礎	2					2	2
	保健 体育	体育	7~8	3	3	3	3	2	2
		保健	2	1	1	1	1		
	芸術	音楽 I	2	2	2				
		音楽 II	2					2 ^{*1}	2 ^{*1}
		美術 I	2			2	2		
		美術 II	2					2 ^{*1}	2 ^{*1}
	外国 語	コミュニケーション英語基礎	2	2	2				
		コミュニケーション英語 I	3	1	1	2	2		1
		コミュニケーション英語 II	4			1		3	
		英語会話	2				1		1
家庭	家庭総合	4	2	2	2	2	2	2	
情報	社会と情報	2	2	2					
学校 設定 教科	産業・ 福祉 ^{*2}	産業と社会			3	3			
		産業と人間					3	4	
領域 別の 指導	自立 活動	自立活動		2	2	2	2	2	2
		食事の指導		5	5	5	5	5	5
	特別活動 (LHR)	3	1	1	1	1	1	1	
総合的な学習の時間		3~6	1	1	1	1	1	1	
単位数計			33	33	33	33	33	33	

※1 芸術…「音楽 II」「美術 II」については、生徒の希望に応じ、3 年次にいずれかを選択して履修する。

※2 学校設定教科「産業・福祉」…

勤労の意義について考察し、職業人として必要とされる能力・態度、望ましい勤労観・職業観を養うための学習。目標は、以下のとおりである。

- ・社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する
- ・自己の将来の生き方や進路について考察する

2 Ⅲ課程

Ⅲ課程は各教科を以下に示す知的障害特別支援学校の各教科の目標及び内容に替えた教育課程である。

(1) A類型（知的障害特別支援学校高等部の各教科の1、2段階）

- ・卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などを考慮した基礎的な内容（高等部1段階）や発展的な内容（高等部2段階）を学んでいく。
- ・教科別の指導で、均等に時間をかけ国語・社会・数学・理科の内容を学んでいくことで、卒業後に必要な基礎的な知識の積み上げを図っていく。
- ・各教科で学んだ知識を卒業後の生活に根ざした「生きる力」として身に付けることができるよう、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習・作業学習）において、実際の・総合的に学んでいく。
- ・道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通して取り扱う。

<Ⅲ課程A類型の指導形態及び授業時数>

各教科・領域等		全学年		
		年間	週	
各教科	国語	70	2	
	社会	35	1	
	数学	70	2	
	理科	35	1	
	音楽	70	2	
	美術	70	2	
	保健体育	140	4	
	家庭	70	2	
教科等を合わせた指導	日常生活の指導	87.5	2.5	
	生活単元学習	52.5	1.5	
	作業学習	140	4	
領域別の指導	自立活動	自立活動	70	2
		食事の指導	175	5
	特別活動（LHR）	35	1	
総合的な学習の時間		35	1	
総授業時数		1155	33	

(2) B類型（知的障害特別支援学校中学部または小学部の各教科の3段階）

- ・経験の積み重ねを重視し（小学部3段階）、卒業後の社会生活や職業生活の基礎（中学部の段階）を育てることをねらいとする。
- ・日常生活に必要な国語・数学の内容は、身近な生活体験に密接に関連付けながら、教科別の指導や教科等を合わせた指導において、体験的に繰り返し学んでいくことで理解を深め定着を促していく。
- ・社会、理科の内容は、各教科等を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習・作業学習）において、生活的な目標や課題に沿って実際の・総合的に学ぶ。
- ・道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通して取り扱う。

<Ⅲ課程B類型の指導形態及び授業時数>

各教科・領域等		全学年		
		年間	週	
各教科	国語	70	2	
	数学	70	2	
	音楽	70	2	
	美術	70	2	
	保健体育	140	4	
教科等を合わせた指導	家庭	70	2	
	日常生活の指導	87.5	2.5	
	生活単元学習	122.5	3.5	
領域別の指導	作業学習	140	4	
	自立活動	自立活動	70	2
		食事の指導	175	5
	特別活動（LHR）	35	1	
総合的な学習の時間		35	1	
総授業時数		1155	33	

(3) C類型（知的障害特別支援学校小学部の各教科の1、2段階）

- ・主として教師の直接的な援助を受けながら体験したり、基本的な行動の一つ一つを着実に身に付けたりすること（小学部1段階）や、教師からの言葉かけによる援助を受けたり、教師が示した動作や動きを模倣するなどして、基本的な行動を身に付けること（小学部2段階）をねらいとした学習と、合わせて自立活動の内容を学んでいく教育課程。

<Ⅲ課程C類型の指導形態及び年間授業時数>

各教科・領域等		年間授業時数	
各教科	国語・数学	140	
	音楽	70	
	保健体育	70	
教科等を合わせた指導	日常生活の指導	210	
	生活単元学習	175	
領域別の指導	自立活動	課題学習	70
		自立活動	175
		食事の指導	175
	特別活動（LHR）	35	
総合的な学習の時間		35	
総授業時数		1155	

指導の形態		目標またはねらい及び内容	
教科	国語・数学	目標及び内容は、小学部の国語・数学の1、2段階である。	
	音楽	目標及び内容は、小学部の音楽の1、2段階である。	
	保健体育	目標及び内容は、小学部の体育の1、2段階である。	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	毎日繰り返される生活の流れに沿った活動を通して、生活リズムや生活習慣の形成、日常生活動作の習得などをねらう。合わせる各教科の目標及び内容は、小学部の各教科の1、2段階である。	
	生活単元学習	生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習することをねらう。学年集団で学習を行うことで、対人関係の拡大やコミュニケーション能力の向上を図る。合わせる各教科の目標及び内容は、小学部の各教科の1、2段階である。	
領域別の指導	道徳	道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通して取り扱う。	
	特別活動	集団活動や様々な経験を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、望ましい人間関係を育てて、自主的・実践的な態度を育てる。	
	自立活動	課題学習	個々の生徒の障害の状態や発達の段階を考慮して、自立活動の6区分26項目の内容を相互に関連付け指導する。課題が共通する生徒同士でグループを編成する。働きかけに応えたり、自分の意思を伝えたりするなど人との関わりを広げることや、簡単なきまりや手順に沿って仲間と一緒に、または集団で活動できる力を育てる。
		自立活動	個々の生徒の障害の状態や発達の段階を考慮して、自立活動の6区分26項目の内容を相互に関連付け指導する。個別対応を基本とし取り扱う。
		食事の指導	摂食や食事動作に関すること、食事のマナー、コミュニケーション能力、食前の準備や食後の片付けなどを取り扱う。
	総合的な学習の時間		体験活動を通して、他者と協同し、望ましい人間関係の形成を図る。

3 IV課程（訪問教育） 教育課程

(1) 指導方針

- 心身ともに安定した健康状態にある姿
 - いろいろな人や物との関わりをもち、自分から意思を表現し、周囲に働きかける姿
 - 生活をより豊かにするために、学校や地域との関わりをもち、学習や生活の場を少しずつ広げていく姿
- これらの姿を自立へ向かう姿であると考え、児童生徒たちがもっている「生きる力」を大切に育み、ニーズや実態に応じて指導を進める。指導にあたっては、保護者・関係機関との連携を十分に図り、一人一人を複数の教師の眼で見えていくことで実践に生かす。

(2) 指導目標

- ①生活のリズムを整え、季節や環境の変化に少しずつ対応できる体づくりを通して、健康の保持・増進に努める。
- ②人や物との関わりを通して、情緒の安定を図り、生活を楽しく豊かなものにする。
- ③スクーリングや訪問教育行事への参加を通して、集団での様々な学習経験や生活の広がりを目指す。
- ④家庭・施設・医療機関との連携を具体化し、教育実践に生かす。
- ⑤個に応じた基礎的学力の習得に努める。

(3) 指導形態及び年間授業時数

領域・教科		施設	在宅	みさかえ分教室
各教科等を合わせた指導	生活・社会、理科、職業・家庭	70	35	70
	国語			
	算数・数学			
	音楽			
	図画工作・美術			
	体育・保健体育			
	自立活動			
領域別の指導	道徳	教育活動全体を通して行う		
	特別活動	学校行事	12	6
		訪問行事		
		交流及び共同学習		
		スクーリング		
自立活動	128	169	134	
総時数		210	210	210